

編 集 後 記

本年度の年次報告であるVol.9 No.1は、いかがでしたでしょうか。どちらかといえば、無味乾燥な文章が多くなりがちな広報ですが、金沢弁もでてくる小説風の紹介も出てくるなど、私個人としては、面白くわかりやすいなと喜んでいきます。

文書処理、図形処理、データ処理およびデータベースは、研究、教育両面でさらに発展して行くと思われまふ。また、こんなことが計算機でできないかなと考えることは、だいたいできるようです（私が考えることでして、保証の限りではありません）ので、是非皆様、安易な気持ちで計算機センターを利用していただき、また下記要領にて奮って広報に御投稿をお願い申し上げます。なお、本年度中の広報特集号として文献情報検索編（9月発行）と図形編（12月発行）を予定しておりますので、御期待下さい。

(H.M)



計 算 機 セ ン タ ー 広 報 原 稿 募 集

1. 広報Vol.10, No.1（昭和61年4月発行予定）の原稿を募集しています。内容は
 - 1) コンピュータに関連した随想、論説（1～4頁程度）
 - 2) コンピュータを利用した研究、事例紹介（4～10頁程度）
 - 3) コンピュータのシステム、ソフトウェア、ハードウェア等の解説（4～10頁程度）
 - 4) その他（ユーザの声、提言など）（1頁以内）
2. 投稿規定、原稿用紙は計算機センター受付に準備してあります。
3. 投稿資格は原則として利用者としまふ。非利用者は広報小委員会に御相談下さい。
4. 原稿の採否は広報小委員会に御一任下さい。
5. 原稿〆切 昭和61年2月20日
原稿提出先 金沢大学工学部内 計算機センター宛